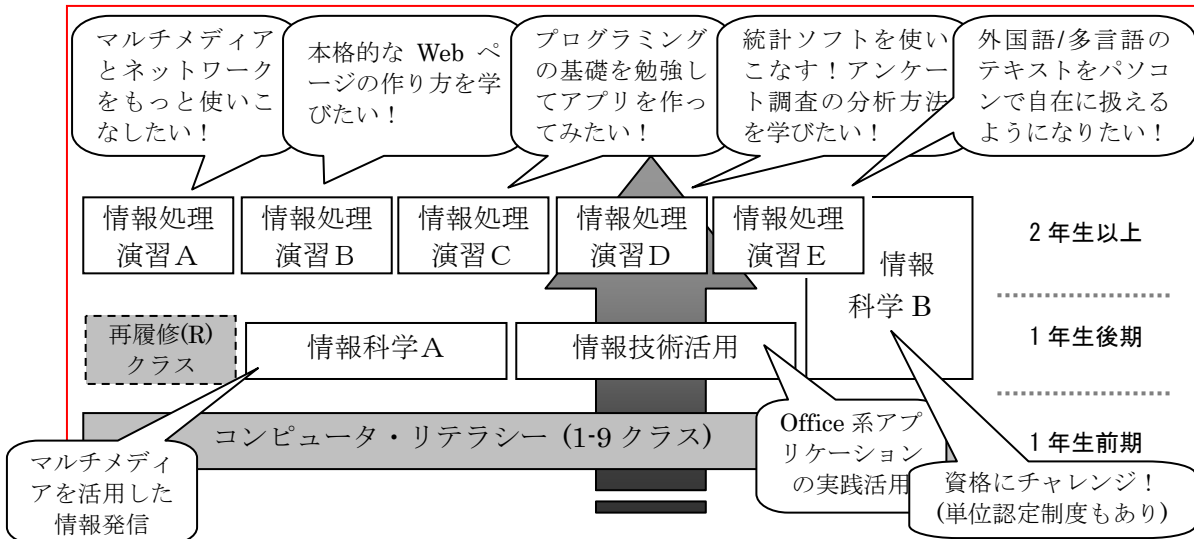


情報処理関連科目の履修について

※ この文書に関する質問は：匂坂 (tsagisak@reitaku-u.ac.jp) まで

外国語学部では、コンピュータ・リテラシーのほかにも 5 つの演習科目を含む合計 8 科目 (16 単位) の情報処理関連科目が開講されています。



図：外国語学部情報処理関連科目の流れ

- コンピュータ・リテラシーは**必修科目**，他は原則として選択科目です(旧カリキュラムでは「言語・情報コミュニケーション」副専攻で「情報科学 B」が必修科目でしたが新カリキュラムでは異なります)。

表 1：外国語学部情報処理関連科目一覧

科目名	題目・内容	担当者(2014年度)
情報科学 A	デジタルデータの加工と情報発信を体験し，ノウハウを身につける(画像編集，プレゼンテーション，Web ページ作成)	秋本・笹原
情報技術活用	Office 系アプリケーションの活用トレーニング。ICT 能力を中核としたビジネスコミュニケーション力をのばす。	川端・匂坂・清水
情報科学 B	情報処理の資格試験取得。情報処理の知識とスキルを総合的に身につける。	匂坂
情報処理演習 A*	マルチメディアとインターネット	匂坂
情報処理演習 B*	XHTML とスタイルシートによる Web デザイン	笹原
情報処理演習 C*	プログラミング言語 C# によるプログラミングの基礎	千葉
情報処理演習 D*	Excel と SPSS を使った統計分析の基礎	匂坂
情報処理演習 E	パソコン等の情報機器における多言語処理	清水

* 履修の前提条件あり。詳細は[講義要綱](#)を参照のこと。

- 情報処理関連科目は共通科目の単位となるほか，副専攻の関連科目として履修することもできます。平成 24 年度以降入学の学生の場合，「言語・情報コミュニケーション」「ビジネス」副専攻では複数の情報処理関連科目(コンピュータ・リテラシーを除く)を，「EU 地域」「東アジア地域」副専攻では情報処理演習 E (多言語処理)を副専攻科目とすることができます。これからも情報処理関連科目を積極的に履修しましょう！

- 一年次後期には、コンピュータ・リテラシーに続く科目として「情報科学 A」「情報技術活用」「情報科学 B」の 3 科目が履修できます。
 - 一度に全ての科目を履修することも可能ですし、1 年次に取らなかった科目を 2 年次以降に履修することも問題なくできます。これら 2 つの科目のうち、**関心のある方を少なくとも 1 年次後期に履修しておくことをおすすめします。**
 - **【重要】**1 年次生の「情報科学 A」「情報技術活用」(概要は表 2 を参照)の履修については**履修希望調査を実施してクラスを決定します。**コンピュータ・リテラシー 期末試験で希望を回答してもらい、それに基づいて後期授業開始前にクラス分けを発表します(追加や変更を希望する場合は、後期授業開始後教務課に申し出ます(ただし追加登録できるのは空きがあるクラスにのみとなります))。

表 2 : 「情報科学 A」「情報技術活用」の授業内容

「情報科学 A」	「情報技術活用」
オリジナルな課題の制作をおこなう発信型の授業です。課題の企画・取材(情報収集)・コンテンツ作成・公開(発表)を通じ、パソコンやネットワークの実践的な利用方法とともに、情報発信の技術と注意点を学びます。	Word, Excel, PowerPoint などの主要ソフトウェアを徹底活用するトレーニングをおこないます。ICT(情報通信技術)の活用力を強化しビジネスで使えるコミュニケーション力を育成します。
<ul style="list-style-type: none"> ● グラフィックデータの加工。 ● PowerPoint を使ったプレゼンテーション(企画・立案から発表まで行います)。 ● 情報の発信にあたって必要となる、著作権と関連する権利の基礎知識の習得。 ● Web ページの仕組み、HTML の書き方、画像を使った Web ページの作成、FTP による Web ページの公開(履修者はオリジナルな Web ページを制作し公開します)。 ● Excel を使った実践的なデータの作成、加工と分析。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスでの具体的な活用場面を想定した Office 系アプリケーション(Word, Excel, PowerPoint)の実践的訓練。 ● 「ビジネスコミュニケーション力」をもつ人材の育成を目指し、その中心である論理構成力や分析力、視覚に訴える表現力を強化する。 ● 情報の収集、蓄積、活用に必須となる情報検索や情報セキュリティ、データベース活用知識を習得する。

- 「情報処理演習 A・B」を履修するには「情報科学 A」の単位の取得が必要です。
- 「情報科学 B」は資格試験である「P 検」3 級・準 2 級の取得を念頭に、情報通信技術(ICT)の中級レベルの知識や技術を身につけます。第 1 回授業で履修者を決定します(希望者が多い場合は履修制限をおこないます。履修希望調査はありません)。
- 「P 検」準 2 級・2 級合格者には単位認定制度があり、準 2 級では「情報科学 B」、2 級で「情報処理に関する科目」の単位が認定されます。P 検は定期的に団体試験が実施され学習教材の無料貸し出しもおこなっていますので、活用してください。
- 「P 検」準 2 級・2 級以外に外国語学部で単位認定が認められている資格試験として、CompTIA が主催する国際資格「CompTIA Strata IT Fundamentals」(1 単位)があります。資格取得のためのセミナーが学内で定期的に開催されていますので、有利に学習することができます。この他にも CG-ARTS 協会が主催する検定(「Web デザイナー検定」「マルチメディア検定」)などが本学部学生に人気があります。
- 情報関係の自主企画ゼミナールの提案は随時受けつけています。
- その他、授業の履修など、分からないことがあれば外国語学部専任教員まで気軽に質問してください。e-mail: tsagisak@reitaku-u.ac.jp (匂坂)

(以上)